

# 第 32 回日本意識障害学会

7月26日(金) A会場(8階805)

## 開会挨拶

8:30 ~ 8:40

近藤 和泉 (国立長寿医療研究センター)

## シンポジウム 1 摂食嚥下障害

8:40 ~ 10:10

座長：加賀谷 斉 (国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部)

### S1-1 意識障害に対する末梢からの電気刺激・磁気刺激治療

加賀谷 斉 (国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部)

### S1-2 意識障害がある摂食嚥下障害患者に対して歯科としてできることは

大野 友久 (浜松市リハビリテーション病院)

### S1-3 意識障害患者に対する摂食嚥下リハビリテーション 言語聴覚士の立場から

稲本 陽子 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

### S1-4 看護師の立場から考える意識障害患者への口腔機能管理

三鬼 達人 (藤田医科大学ばんだね病院)

## シンポジウム 2 リハビリ+ロボット

10:15 ~ 11:45

座長：青柳陽一郎 (日本医科大学大学院医学研究科 リハビリテーション学分野)

### S2-1 ロボット介護機器による起き上がり・移乗介助動作に対する効果

相本 啓太 (国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部)

### S2-2 遷延性意識障害患者に対する鍼治療の可能性

松本 淳 (中部脳リハビリテーション病院・中部療養センター  
/ 岐阜大学医学部附属病院第二内科)

### S2-3 介護施設における介護ロボット導入と入居者の生活範囲拡大

吉見 立也 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)

S2-4 意識障害患者における摂食嚥下リハビリテーション評価・治療  
おおはし みほ 大橋 美穂 (日本医科大学付属病院)

会員報告会

13:00 ~ 13:10

シンポジウム 3 急性期治療

13:10 ~ 14:40

座長：永山 正雄 (国際医療福祉大学大学院医学研究科 国際医療福祉大学成田病院 脳神経内科学)

S3-1 急性期意識障害を合併する患者において高い確率で意識回復が望める検査は何か？

もりや たかし 守谷 俊 (自治医科大学附属さいたま医療センター救急科)

S3-2 血腫形成型くも膜下出血における 3-dimensional CT angiography (3DCTA) の有効性

ねもと まさあき 根本 匡章 (東邦大学医療センター佐倉病院)

S3-3 「救急部門における意識障害の対応の進歩と課題」 一急性期意識障害の盲点一

うえだ たかし 上田 孝 (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科)

S3-4 一般病棟・ICU における意識障害への対応の進歩と課題

こばた ひとし 小畑 仁司 (多根総合病院)

シンポジウム 4 認知症と意識障害

14:45 ~ 16:15

座長：前島伸一郎 (国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター)

S4-1 意識障害と認知症の鑑別

ながた けん 長田 乾 (横浜総合病院神経内科・横浜市認知症疾患医療センター)

S4-2 高齢者におけるせん妄 - その機序と治療

やすの ふみひこ 安野 史彦 (国立長寿医療研究センター)

S4-3 認知症の最新治療 (レカネマブ治療・リハビリ含む)

こんどう いずみ 近藤 和泉 (国立長寿医療研究センター)

S4-4 頭部外傷後の認知症

たかぎ やすし 高木 康志 (徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科)

## 教育講演 1

16:20 ~ 17:20

座長：小林 繁樹（自動車事故対策機構 千葉療護センター）

### EL1 遷延性意識障害の病態と診断

しのだ じゅん  
篠田 淳（中部脳リハビリテーション病院）

## アフタヌーンセミナー①

17:25 ~ 18:25

座長：大沢 愛子（国立長寿医療研究センター）

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

### レカネマブ：地域医療への影響

なかつか まさお  
中塚 雅雄（知多厚生病院 脳神経外科）

# 第 32 回日本意識障害学会

7月26日(金) B会場(8階 802+803)

## 一般口演 1 診断と治療

8:40 ~ 9:15

座長：上田 孝 (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科)  
葛田 衣重 (千葉大学医学部附属病院 感染制御部)

### ○1-1 新型コロナウイルス感染症と意識障害 一昔と今一

上田 孝 (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科)

### ○1-2 重症頭部外傷後慢性期の遷延性意識障害患者における外傷性てんかんの臨床解析

安田 祥二 (中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター脳神経外科)

### ○1-3 重症頭部外傷による遷延性意識障害患者に対する 一貫した目線による治療介入の必要性

伊東 大祐 (千葉療護センター脳神経外科)

### ○1-4 慢性硬膜下血腫患者が回復期病院へ転院となった一事例

山田 一真 (藤田医科大学病院看護部 A-7N 病棟)

## 一般口演 2 看護ケア

9:30 ~ 10:05

座長：日高紀久江 (東邦大学 健康科学部)  
尾内 一如 (西知多リハビリテーション病院 院長)

### ○2-1 受傷後長期間経過した患者の遷延性意識障害の改善に向けた取り組みの一例

中野 理恵 (社会医療法人 中村記念病院 5階病棟)

### ○2-2 遷延性意識障害患者に対して、排泄行動に着目し 意識レベルの改善を認めた一例

笠井 彰子 (藤田医科大学七栗記念病院)

### ○2-3 重度意識障害患者の移乗を指導によりリフト導入に至った経緯

高澤 太郎 (自動車事故対策機構 千葉療護センター 診療部リハビリテーション科)

○2-4 食事の自己摂取を目指して易疲労性の改善と上肢機能向上に取り組んだ脳外傷後遺症例の一例

<sup>あきの</sup>浅野さつき (中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター看護部)

一般口演 3 リハビリ

10:20 ~ 11:00

座長：足立 好司 (春日居総合リハビリテーション病院 脳神経外科、リハビリテーション科)  
伊藤 直樹 (国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部)

○3-1 四肢麻痺を呈した頭部外傷患者への両側下肢装具を用いた理学療法経験一起立および移乗動作の獲得を目指して一

<sup>せき</sup>関 <sup>たかし</sup>崇志 (広南病院 リハビリテーション部)

○3-2 回復期リハビリテーション病棟で長期的な関わりを行った重度意識障害患者の1例

<sup>やまだ</sup>山田 <sup>たいせい</sup>大晟 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)

○3-3 感情失禁を伴う高次脳機能障害患者に対する情動調整を目的とした音楽療法

<sup>おくむら</sup>奥村 <sup>ゆか</sup>由香 (中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター)

○3-4 易怒性を有する頭部外傷後遺症患者に対するアプローチ方法の検討一症例集積研究を用いて一

<sup>せんが</sup>千賀 <sup>そら</sup>空 (中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター)

○3-5 笑い研究と意識について

<sup>あだち</sup>足立 <sup>こうじ</sup>好司 (春日居総合リハビリテーション病院)

カレントトピックス

11:10 ~ 11:40

座長：小畑 仁司 (多根総合病院 脳神経外科 / 集中治療科)

松本サリン事件より 30 年 神経剤による急性意識障害の特徴、特に瞳孔所見の重要性

<sup>おくでら</sup>奥寺 <sup>ひろし</sup>敬 (国立大学法人 富山大学名誉教授・中部国際医療センター救急部門)

## ランチョンセミナー

12:00 ~ 13:00

座長：間瀬 光人（名古屋市立大学 脳神経外科）

共催：日本メドトロニック株式会社

### 重症脳血管障害に対する血管内治療

みやち 宮地      しげる 茂（愛知医科大学 脳神経外科）

## 一般口演 4 栄養・嚥下

13:20 ~ 13:55

座長：加賀谷 斉（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）

松浦 広昂（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 リハビリテーション科）

### ○4-1 頭部外傷後意識障害患者の感染予防を目的とした 亜鉛調整についての考察

あさほら ゆか 浅原 悠香（藤田医科大学病院 看護部）

### ○4-2 遷延性意識障害患者に対する白湯先行注入法の有効性の後方視的検討

まつい あき 松井 亜希（独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター 看護部）

### ○4-3 外傷性意識障害患者の体組成の変化について

あびこ はるか 安彦 明香（一般財団法人 広南会 広南病院 栄養管理部）

### ○4-4 頭部外傷後遺症患者における磁気刺激装置パスリーダーを用いた 嚥下訓練の試み

なかしま あきこ 中島 明子（独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター リハビリテーション科）

## 一般口演 5 看護・家族支援

14:00 ~ 14:35

座長：矢野 大仁（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

上田 正之（医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部）

### ○5-1 タスカル運用における看護師の行動の把握と統一化

さの ようすけ 佐野 洋介（藤田医科大学ばんだね病院 ICU 病棟）

### ○5-2 チームアプローチにより遷延性意識障害から脱却へ到った1例

えばら ようすけ 餌原 洋輔（一般財団法人永頼会 松山市民病院 リハビリテーション室）

### ○5-3 高次脳機能障害による易怒性の高い患者に寄り添った看護の視点と対応

たかはし 高橋こころ（岡山療護センター看護部）

○5-4 上田脳神経外科における、  
市民向け健康講座「脳を守る会」20年の歩み

上田 正之 (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部)

一般口演 6 看護ケア・患者支援

14:40 ~ 15:30

座長：野々川陽子 (独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター附属金沢看護学校)  
周郷 延雄 (東邦大学医療センター大森病院 脳神経外科)

○6-1 意識障害患者の睡眠解析と環境評価  
～睡眠計測デバイスを用いて～

とくしげ あさみ (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 看護部)  
徳重 麻美

○6-2 脳神経外科医が参加した院内認知症ケアサポートチーム活動  
～不眠・せん妄対策による転倒転落事例減少への挑戦～

ふじた こうじ (公立那賀病院脳神経外科)  
藤田 浩二

○6-3 マットレス選択による統一した看護を提供するための取り組み  
～看護師の認識の再確認～

じつもり まいか (社会医療法人医仁会 中村記念南病院)  
實盛 舞花

○6-4 脳血管疾患患者における嚥下補助製品が降圧薬の効果に与える影響

わたなべ ちえ (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部)  
渡邊 智恵

○6-5 血管内治療後の圧迫止血における疼痛・知覚障害とBMIとの関係

もり ありな (藤田医科大学ばんだね病院)  
森 亜利梨

○6-6 災害時における意識障害患者の病院避難は可能か

もりや たかし (自治医科大学附属さいたま医療センター救急科)  
守谷 俊

一般口演 7 看護・リハビリ

15:40 ~ 16:20

座長：眞野 恵子 (藤田医科大学病院 看護部長室)  
前島伸一郎 (国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター)

○7-1 バランスボールムーブメント継続により、痙縮のある患者の緊張緩和に繋がった看護実践報告

たけうち ようこ (自動車事故対策機構千葉療護センター 看護部)  
竹内 葉子

- 7-2 尖足改善のための取り組み  
～排泄動作の介助量軽減を目指した看護～  
竹中<sup>たけなか</sup> 萌夏<sup>もえか</sup> (中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター看護部)
- 7-3 遷延性意識障害患者の筋緊張異常の評価  
—Modified Tardieu Scale と誘発筋電図の関連の検討—  
原<sup>はら</sup> 耕太<sup>こうた</sup> (中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター)
- 7-4 重度痙性麻痺に対する ITB 療法  
～バクロフェン投与量調整・BoNT/A 施注との併用について  
鈴木<sup>すずき</sup> 聡<sup>さとし</sup> (社会医療法人北斗 北斗病院脳神経外科)
- 7-5 遷延性意識障害を呈する関節拘縮患者に対し  
背面開放座位と拡散型衝撃波治療を併用導入した 1 例  
曾我沙也加<sup>そがさやか</sup> (社会医療法人中村記念病院)

## アフタヌーンセミナー②

17:25 ～ 18:25

座長：新見 昌央 (日本大学リハビリテーション医学分野教授)

共催：インターリハ株式会社

## 脳波 BMI を応用した「意識障害」患者向け診断 / リハビリ / 意思伝達支援技術の開発

長谷川良平<sup>はせがわりょうへい</sup> (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間拡張センター・上級主任研究員)

# 第32回日本意識障害学会

7月26日(金) C会場(8階801)

## 第9回意識障害学会講習会

10:00 ~ 11:45

司会：加藤 庸子（一般社団法人日本意識障害学会代表理事 /  
藤田医科大学 ばんだね病院 脳神経外科）  
大沢 愛子（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科）  
コメンテーター：  
前島伸一郎（国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター）  
森田 功（藤田医科大学 医学部 脳神経外科）  
総括：篠田 淳（中部脳リハビリテーション病院 脳神経外科）

### 講演1 「救急現場における意識障害への対応」

#### —意識障害プロトコルの有用性とその盲点—

<sup>うえだ</sup> <sup>たかし</sup>  
上田 孝（医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科）

### 講演2 意識障害の診断と予後予測

<sup>ながやま</sup> <sup>まさお</sup>  
永山 正雄（国際医療福祉大学大学院医学研究科  
国際医療福祉大学成田病院 脳神経内科学）

### 講演3 意識障害看護

<sup>こじま</sup> <sup>な</sup> <sup>おこ</sup>  
小島菜保子（藤田医科大学岡崎医療センター 看護部）

### 講演4 レスパイトと重度嚔下障害への対応

<sup>おざき</sup> <sup>けんいち</sup>  
尾崎 健一（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）

## 患者会プログラム

13:20 ~ 14:50

代表：篠田 淳（中部脳リハビリテーション病院 脳神経外科）

### 家庭でできる機能維持→リハビリと環境調整

<sup>ふたい</sup> <sup>としゆき</sup>  
二井 俊行（愛知県厚生連海南病院 通所リハビリテーションきらら）

### 地域包括ケア病棟におけるレスパイトと嚔下障害評価

<sup>おざき</sup> <sup>けんいち</sup>  
尾崎 健一（国立長寿医療研究センター）

### テクノロジー活用で広がる重度障害児者とのコミュニケーション

<sup>ひきじ</sup> <sup>あきひさ</sup>  
引地 晶久（一般社団法人できわかクリエイターズ）